



## “ 生まれてからずっと、80年以上 井の頭恩賜公園をわが庭(!?)と思って生きてきました ”

草村礼子 さん

俳優

三鷹で生まれて、26歳の時、結婚を機に御殿山に移り、現在は西久保。玉川上水沿いの道を、80年以上もずっと歩いてきました。

小さい頃は戦争中で、私たちの住む辺りにも爆弾が落とされるようになって、私は一年半も新潟の祖父のもとに預けられました。終戦後に戻ってきたけれど食べる物がまったくなくて、本当に切ない思いをしました。あんな経験はもう二度としたくないし、誰にもさせたくないですね。

もともと引つ込み思案な性格で、人前が出るのが苦手な子どもでしたが、中学生の時、友達に誘われた狂言で太郎冠者<sup>たうろうかじら</sup>を演じたところ、1200人も生徒から大喝采！それでお芝居がしたくなって劇団の門をたたき、俳優人生を始めました。主な活動は中高生向けの巡業公演でしたが、平成8(1996)年公開の映画『Shall

we ダンス?』が転機になり、人生が変わりました。社交ダンスを教えるたま子先生の役で、俳優としての私を多くの方に記憶していただき、一人芝居の地方公演も可能になり、ボランティア活動「夢のダンス」も始められました。

市内の景色がどんどん変化していても、公園や街路樹など、まちなかに自然が多く残っているのが居心地の良さは変わりません。最近では井の頭恩賜公園だけでなく小金井公園まで散歩をするんです。きれいにお手入れされたお宅の植木やお花を見物しながら歩くのが好きなの。そんな時「あら、こんにちは」なんて声を掛けられるのもうれしいし。ふふ。毎週、市の総合体育館で開かれているヨガ教室にも通っています。これからも健康に気を付け、元気に俳優を続けたいと思っています。



草村礼子  
(くさむら・れいこ)

俳優。1940年、東京都三鷹市出身。劇団東京小劇場の幹部女優として16年活動し、『キューポラのある街』のトミ役として400回以上出演。1996年、映画『Shall we ダンス?』の田村たま子先生役で多くの人に認知され、日本アカデミー賞優秀助演女優賞などいくつもの映画賞を受賞。2015年、映画界・演劇界への長年の貢献が評価され日本映画批評家大賞ゴールデン・グローリー賞を受賞。